

特集1

# コロナ禍の山口県立山口博物館の 天文活動について

岩村和政（山口県立山口博物館）

## 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、当館においてもさまざまな影響を受けてきた。臨時休館や体験的機器の使用制限、講座等の人数制限などがあげられる。こうした困難の中で臨機応変な取り組みをすることにより、会期の変更はあったものの当初計画していた行事を実施することができた。また、新たな取り組みも始まった。そこで、今回は当館のコロナ禍での天文分野の活動を紹介する。

## 2. 館全体の感染症対策について

当館の新型コロナウイルス感染症に対する主な対策を以下に挙げる（通常開館時）。

- ・入館時に体調チェック表&連絡先の記入
- ・サーモグラフィーによる検温
- ・館内でのマスクの着用、手指消毒
- ・館内の換気、空気清浄機の設置
- ・滞在者の人数制限
- ・間隔を開けるフロアーマーカーの設置
- ・接触を伴う体験型活動の制限
- ・社会見学、出前授業、普及講座の人数制限
- ・デジタル化の促進 など

これら感染症対策を講じた上で、天文分野は二つのテーマ展と観望会を実施した。

## 3. 天文分野の活動紹介

### 3.1 二つのテーマ展について

#### (1) 空の不思議な写真展（2月11日～4月7日、3月3日～3月26日は臨時休館）

山口博物館に関わりのある人たちから提供いただいた天文・虹・雲・光学現象などの空全体に関わる不思議な写真を集め、「空の不思議な写真展」を開催した。そこにある原理や

法則を解説し、幅広い方に興味関心を持っていただいた。

#### (2) 「時」展覧会 2020（6月5日～7月12日）

6月10日の時の記念日にあわせて、「一時の記念日100周年記念－「時」展覧会2020」を開催した。時や暦が天文学と深く関わっていることを収蔵資料とともに展示した。

### 3.2 観望会、出前授業について

これまでの観望会は、自由参加のため参加者の把握が困難なこと、ドーム内で密な状態が発生すること、望遠鏡に触れることで間接的な接触が発生することが問題となった。

そこで、自由参加から事前申し込み制に変更し（氏名・連絡先の把握）、人数制限を設けて（10組最大40名、抽選方式）、館全体の感染症対策と併せて観望会を実施した。

接触者の把握と密な状態を避けるために、参加者を5グループに分け、各グループ単位で大型望遠鏡・解説・望遠鏡・望遠鏡または大型双眼鏡・科学実験の5か所をローテーションで巡ってもらい、ドーム内の大型望遠鏡以外は屋上全体を使ってソーシャルディスタンスを保つよう工夫した。事前申込を行うことで、小さな子供連れ家族や高齢者などを把握でき、グループ分けでさまざまな配慮ができるメリットもあった。

また、望遠鏡や双眼鏡を覗く際には、底に穴を開けた紙コップを利用した。紙コップを利用する際、3か所ある望遠鏡のアイピースの外径を統一する必要があるが、ドーム内のNikon20cm屈折望遠鏡は古い24.5mm径のアイピースを利用していたため、数種の変換アダプターを組み合わせて31.7mm径に変換し、他の望遠鏡と同じアイピースが使える

ようにした。観望会を実施した結果、紙コップは1家族に2個渡せば十分であることがわかった。



図 1 紙コップを利用した観望

小学校などで開催する天体観測の出前授業も、体育館や屋外を利用するなど基本的に観望会に準じた方法で実施した（人数制限は学校の実情に合わせて実施）。

### 3.3 バーチャル博物館

移動の自粛によりご来館いただけない方のために、ホームページ上に「バーチャル博物館(ミュージアム) in やまはく」を立ち上げ、会場の360度写真、ビデオ映像、パネルや資料の写真を掲載し、来館した雰囲気を感じてもらえる新しい取り組みもはじめた。



図 2 バーチャル博物館

360度写真は、Facebookへ投稿することで簡単に公開できるだけでなく、スマートフォンやVRゴーグルを用いると向いた方向に自動的に画像が動き、VRの没入感が増すことがわかった。また、観望会では望遠鏡の映像をYouTubeにライブ配信するとともに会場内のTVに流すことで、テレビ観望だけでなくスマートフォンで記念撮影することができるのでたいへん喜ばれた。これら以外にもデジタル化により、天文分野にも新たな楽しみ方ができることを実感した。

当館ホームページで公開しているので、ぜひご覧いただきたい。

### 4. おわりに

新型コロナウイルスの感染症の拡大は、現在もとどまる気配は見られない(2021年3月現在)。そんな厳しい状況であるが、取りあえず取り組んでみようと思いを合せて一つ一つ前に進んできた。観望会では人数制限を設けたことで年間の参加者人数は大幅に減ったが、「ゆったり見ることができた」「感染症対策がしっかりなされており、安心して参加できた」など大変好評で、参加者の満足度は高くなった。また、2021年2月から「ミュージックミュージアム in やまはく」をホームページ上で公開している。その中で天文展示室の3Dウォークスルー体験や隕石を360度から閲覧できるようにした。これまでの経験を踏まえ、さらに出前授業や観望会のデジタル化を進めて行きたいと考えている。



岩村和政